

PRESS RELEASE

2019年8月2日

埼玉工業大学、「自動運転バス」を開発 公道走行可能な自動運転バスの実用化・市販化に向けて

埼玉工業大学

埼玉工業大学（本部：埼玉県深谷市、学長：内山俊一、略称：埼玉大、<https://www.sit.ac.jp/>）は、私立大学初となる一般の公道を走行可能な自動運転バスの開発に着手し、8月1日に最新の開発状況を公開し、試乗会を開催しました。

この開発は、埼玉県が将来の事業化を目指して行うスマートモビリティの実証を支援する「埼玉県スマートモビリティ実証補助金」（テーマ：公道走行可能な自動運転バスの実験車両とAIの実用化・市販化）に今年度採択されており、これにより開発を加速していきます。

埼玉大は、本年4月に自動運転の技術の全学的な研究組織として「自動運転技術開発センター」を設立して自動運転の実用化に向けた研究・開発を強化し、新開発体制により自動運転バスの開発に注力しています。



今回開発した自動運転バスの実験車両は、マイクロバス「リエッセII」をベースに「自動運転AI (AIPilot / Autoware*)」を実装したものです。AIを本格的に導入して走行する自動運転バスのためバス専用レーンや走行規制をした特定のコースだけでなく、市街地の一般公道で走行を目指します。

埼玉大では、自動運転バスの開発にあたり、普及の進んでいるAutowareを利用し、AIによる障害物の検知（識別・分類する）機能を強化しました。ライダーやカメラの画像情報をディープラーニング（深層学習）により、周囲環境をAIで認識して障害物を回避して走行することも可能です。

埼玉大は、2017年12月に埼玉県内初となる公道による自動運転の実証実験を深谷市で開始しました。その他、SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）をはじめ各種の実証実験に参加し、自動運転技術の開発に経験を重ねてきました。これらの経験を活かして、新体制で開発力を強化して、自動運転バスの開発に着手しました。

この自動運転バスの開発は、株式会社 ミクニ ライフ&オート（社長：大西 浩樹、本社：埼玉県加須市）の全面的な協力により実現しました。今後、この自動運転バスの実用化・市販化に向けた検討を進めていきます。

また今後、大学の地元地域等での公道による実証実験を計画しています。



*：「Autoware」は The Autoware Foundation の商標です。

●「自動運転技術開発センター」について

「自動運転技術開発センター」は、本学学長直轄の研究組織として、本大学の全面的な協力・支援のもと、産学官連携による国内トップクラスの先進的な自動運転技術の研究・開発を目指して2019年4月に設立。

本センターには、新たに和田正義特任教授、大山航教授、山崎隆治教授、鯨井政祐准教授等、ロボットやAI（人工知能）等関連分野を専門とする研究者も参画し、工学部情報システム学科教授 渡部大志がセンター長として活動を統括します。

本センターでは、①自動運転機能を持つ福祉車両の開発、②先端AI技術を活用した自動運転技術の研究、③自動運転を題材にした実践的なAI教育などの課題に取り組みます。特に自動運転バスの開発にも着手しています。

●自動運転バスについて

車両の仕様(大きさ625×203×261、重量4.7t、24人乗り、4000ccディーゼル車)、AIPilot / Autowareで自動運転可能な自動運転実証実験の試験車両となっています。

●関連情報

○プレスリリース：深谷市の公道で自動運転の実証実験を開始（2017/10/26）

https://www.sit.ac.jp/media-s/2017/press/171027_01.pdf

○プレスリリース：「自動運転技術開発センター」設立(2019/5/30)

https://www.sit.ac.jp/media-s/2019/press/190604_01.pdf

○埼玉大、自動運転特設サイト

<http://saikocar.sit.ac.jp/>

●お問い合わせ

埼玉工業大学 企画広報課 担当：神山

〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺 1690 TEL 048-585-6805（直通）

E-mail：kamiyama@sit.ac.jp

URL：<https://www.sit.ac.jp/>